

平成16年度 後学期 建築意匠 (坂本、塚本)

木曜13:20～14:50(5限～6限)

テーマ「東京八景」

みなさんが普段生活している東京は、実は世界でも屈指の大都市です。

それは境界があいまいで外観上の統一もとれていないので、とらえどころがないといわれています。

しかしだからこそ、20世紀が作り上げた刺激的な都市の一例となっています。

この都市の雰囲気や空間構成、自分たちが生活している環境を各自の視点から詳細に観察し、

人に伝わるように2次元の絵やドローイングに表現することがこの授業の目的です。

まずはその場所に行ってよく観察し、スケッチ屋写真撮影をしてみてください。

授業では対象にふさわしい、様々な表現形式を毎週試みます。

表現する素材を1週間かけて集め、必ず授業時間内に仕上げる様にして下さい。

また作品の主旨を簡潔な文章で、絵の中に組み込んでください。

用紙はA3とし、最終講評の時には蛇腹折りに貼り合わせて、各自小冊子に仕上げます。

週	月 日	授業
1	10 7 木	授業内容の説明
2	10 14 木	1. インテリアとしての都市 都市の公共空間を平面図とそれを囲む建物の立面図を組み合わせた起絵として。
3	10 28 木	2. 地形としての都市 地形に変化のある場所を建物といっしょに大断面で。
4	11 4 木	3. 複合体としての都市 高度な複合建築の仕組みをアクソメ、アイソメで。
5	11 11 木	4. 立体構成としての都市 立体的な構成を断面パースで。
6	11 18 木	講評会 1
7	11 25 木	5. イメージやシンボルの集積としての都市 建物よりも目立つコマーシャルやロゴタイプ。写真等のコラージュで。
8	12 2 木	6. 情報としての都市 一番よく知っている街を人に紹介するつもりで絵地図に。
9	12 9 木	7. 風景としての都市 一番好きな東京の街の風景をパースで。

冬休み

10	1 6 木	8. 世界としての都市 一番好きな街を選び、そこでの生活を絵巻物のように。
11	1 13 木	講評会 2
12	1 20 木	ブックの提出 冊子の内容を良く表現する表紙と裏表紙を付けておくこと